

松浦メロン祭り

松浦市特産の新鮮なキンショウメロン、アールスメロンのほか、野菜や家庭菜園用苗などを販売します。ご近所お誘い合わせの上ご来場ください。宅配コーナーも設けられます。

○日時

5月5日(月) 午前9時～午後5時

6日(火) 午前9時～午後3時

○会場 道の駅 松浦海のふるさと館

○問合せ先

ながさき西海農協松浦営農経済センター ☎ 0956-72-1144



個人の体験者受け入れへ

松浦体験型旅行協議会(会長・友広郁洋松浦市長)の総会が4月14日、海のふるさと館漁村体験学習施設で開催され、団塊世代の個人体験者の受け入れなどを含んだ本年度事業計画を決めました。

同協議会は平成14年に発足し、漁業・農業・民泊体験など約90の体験プログラムで修学旅行生の受け入れを実施。昨年度は約8,000人の受け入れがあり、今年度は約14,000人の受け入れを予定しています。

この日は、人と人の出会いを活動的に表現し、青と緑で自然の豊かさをイメージした統一ロゴマークが発表されました。今後、広報、体験場所の看板などに使用していく予定です。

春の体験受け入れは、4月22日から福島町で始まり、6月まで約9,000人の修学旅行生を受け入れます。



第4回まつら海鮮街道 旬あじまつり

8月31日まで開催中

今年も、まつら海鮮街道「旬あじまつり」が始まりました。

「旬あじ」とは、日本有数のアジの水揚げ量を誇る松浦魚市場で水揚げされた、対馬海峡から五島海域で春から夏にかけて取れる100g以上の真アジのことを言います。

まつりは、「旬あじ」を使った料理を期間中に参加店舗で振る舞うものです。旬の今だからこそ食べられるとろけるようなおいしさをぜひ味わってください。

○問合せ先 まつら海鮮街道事務局 ☎ 0956-72-2151



参加店舗に認定書

「旬あじまつり」参加店舗認定書授与式が3月26日、松浦商工会議所で行われました。

まつら海鮮街道実行委員会主催で毎年開催しており、今年は16店舗が参加します。昨年は23,000食(前年度比20%増)を販売し、年々売り上げを伸ばしています。

認定書授与式には、約30人が出席。小松英史^{えいし}会長が「『魚のまち』として一致団結してPRしていきたいです」とあいさつし、参加店舗の代表者に認定書を手渡しました。



とき

vol.28

旬の人

国体に向けて なぎなたの稽古と指導 頑張ります！



ゆみ
萩原 有未 さん
(志佐・田ノ平、写真左)

ちえ
萩原 千絵 さん
(志佐・赤木、写真右)

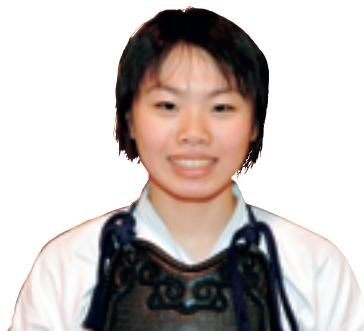
平成15年に松浦市で開催された「長崎ゆめ総体なぎなた競技」で活躍した萩原有未さん、萩原千絵さんの2人が、松浦に帰ってきました。

当時2人は、松浦高校なぎなた部として、ゆめ総体に出場。演技競技（ベスト16）、団体戦（5位入賞）、個人戦（有未さんが銅メダル）で活躍しました。その後、互いに別の体育大学に進み、なぎなた競技を続け、県代表として国体に出場するなど、経験を積んできました。

そしてこの4月から、有未さんは松浦高校に勤務しながら、同高なぎなた部顧問としてなぎなたの指導にあたり、千絵さんは、志佐中学校に勤務しながら、松浦なぎなたクラブの指導に加わっています。

2人は「仕事を覚えながら、後進の指導と自分の稽古を両立させるのはなかなか大変ですが、部員の刺激になるよう、大学で学んできたことを教えていきたいです。そして、6年後の国体ではいい成績が残せよう頑張ります！」と話していました。

全国高校選抜 個人で5位入賞



まほ
磯本 真穂 さん
(松浦高3年)

全国高校選抜大会なぎなた競技女子個人に出場した磯本真穂さん（松浦高校3年）が、5位入賞を果たしました。

兵庫県伊丹市で開催された今大会に、松浦高校なぎなた部は長崎県代表として出場。3月22日の団体戦は初戦で敗退しましたが、23日の個人戦では、全国の強豪選手が集う中、磯本さんが準々決勝まで進み、見事5位に入賞しました。

磯本さんは「全国レベルの大会で個人戦に出場したのは初めてでしたが、服部先生に教えてもらったことを発揮して5位入賞することができ、とてもうれしかったです。6月に宮崎県で開催される九州大会で、団体戦・個人戦とも優勝できるように、稽古に励みたいと思います」と話していました。